

令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立上砂川小学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none">・習ったことを使い、学ぼうとする意欲を高める取組をした結果、82%の児童が地域で学ぶことが楽しいと回答した。・各学年の取り組みを可視化し、発達段階に応じた活動となるよう再構成したことで、6年間の系統性が見えるようになった。・児童が見通しをもって学習することができた。また、「立川市民科」のねらいや意図が保護者にもよく伝わった。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none">・立川市民科公開講座以外での情報発信が十分でなかった。・地域や保護者を巻き込んだ取組にできなかった。 <p>今後は地域や保護者をより巻き込んだ取組をしたり、学校外で発信したりする機会を設定したい。</p>

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
59.4%	31.4%	7.4%	1.8%	0%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
44.1%	47.2%	1.9%	0.3%	6.6%